

算数通信

東山小学校 学力部会

R5. 6. 15 No.1

この通信では、東山小学校の授業や子どもたちの学びの様子についてお知らせします。昨年度に引き続き、研究主題は「主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり～自分の考えを表現することが楽しいと思える授業づくりを目指して～」とし、今年度は算数科の校内研究を行っています。第1号では、5月に行われた5年生の研究授業についてご紹介します。

単元名

比例「変わり方を調べよう (1)」

すごく高い!



何段あるのかな?

「児童が考えたくなる問い」「児童が自分の考えを表現することが楽しいと思える授業構成」を目指して、教科書に載っている問題ではなく、児童に身近な問題を設定しました。

宿泊学習で作ったタワーに使われているドミノはいくつだろう?という問題に、子どもたちは興味津々。比例の性質を使って、ドミノの数を求めることができました。

1段のドミノの数が分かって、タワーの段数が分かれば...



表の上の数が2倍、3倍になるから下も...



ペアでしっかりと話し合いができています。

挙手・ノート写しなど学びに向かう姿勢も素晴らしいです。